

(様式第9)

府病成312号
平成21年10月1日

厚生労働大臣 長妻 昭 殿

地方独立行政法人大阪府
理事長 高杉

大阪府立成人病センターの業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成20年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

| | |
|--------|-----|
| 研修医の人数 | 41人 |
|--------|-----|

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

| 職種 | 常勤 | 非常勤 | 合計 | 職種 | 員数 | 職種 | 員数 |
|-------|------|-----|--------|---------|-----|-------------|------|
| 医師 | 110人 | 67人 | 154.8人 | 看護業務補助 | 29人 | 診療エックス線技師 | 人 |
| 歯科医師 | 人 | 3人 | 2.1人 | 理学療法士 | 3人 | 臨床検査技師 | 64人 |
| 薬剤師 | 20人 | 9人 | 26.4人 | 作業療法士 | 人 | 衛生検査技師 | 4人 |
| 保健師 | 4人 | 人 | 4.0人 | 視能訓練士 | 人 | その他 | 人 |
| 助産師 | 人 | 人 | 人 | 義肢装具士 | 人 | あん摩マッサージ指圧師 | 人 |
| 看護師 | 445人 | 13人 | 454.1人 | 臨床工学技士 | 3人 | 医療社会事業従事者 | 2人 |
| 准看護師 | 5人 | 6人 | 9.4人 | 栄養士 | 人 | その他の技術員 | 2人 |
| 歯科衛生士 | 人 | 人 | 人 | 歯科技工士 | 人 | 事務職員 | 118人 |
| 管理栄養士 | 1人 | 2人 | 2.6人 | 診療放射線技師 | 36人 | その他の職員 | 82人 |

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

| | 歯科等以外 | 歯科等 | 合計 |
|--------------|----------|----------|---------|
| 1日当たり平均入院患者数 | 416.5人 | 0人 | 416.5人 |
| 1日当たり平均外来患者数 | 1085.8人 | 0人 | 1085.8人 |
| 1日当たり平均調剤数 | 入院520.1剤 | 外来 98.9剤 | |

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

| 先進医療の種類 | 届出受理 | 取扱い患者数 |
|--|------|--------|
| 高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術 | 有・無 | 人 |
| 膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション(前十字靭帯損傷又は後十字靭帯損傷に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 顎関節症の補綴学的治療(顎関節症(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。)に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 人工括約筋を用いた尿失禁の治療 | 有・無 | 人 |
| 光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齲蝕の修復に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンビン欠乏症、第Ⅶ因子欠乏症、先天性アンチトロンビンⅢ欠乏症、先天性ヘパリンコファクターⅡ欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断 | 有・無 | 人 |
| SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| HDRA法又はCD—DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。) | 有・無 | 78人 |
| 子宮頸部前がん病変のHPV—DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 成長障害のDNA診断(特発性低身長症に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |

| 先進医療の種類 | 届出受理 | 取扱い患者数 |
|---|------|--------|
| 乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージⅠ又はⅡの乳がんに係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類Ⅲ度又は同分類Ⅳ度のものに限る。))に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 鏡視下肩峰下腔徐圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞踏病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリッド症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜癬痕、瞼球癒着(スティーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷癬痕その他の重症の癬痕性角結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 31P一磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 神経芽腫のRNA診断 | 有・無 | 人 |
| 硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のものに限る。))に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体室素処理骨移植 | 有・無 | 人 |
| 膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術(インスリノーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、膵管内腫瘍その他の膵良性腫瘍に係る膵体尾部切除又は核出術に限る。) | 有・無 | 人 |
| 低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マントル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析 | 有・無 | 人 |
| Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。))による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 家族性アルツハイマー病の遺伝子診断 | 有・無 | 人 |
| 膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードⅤの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療 | 有・無 | 人 |
| 泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに係るものに限る。) | 有・無 | 人 |

| 先進医療の種類 | 届出受理 | 取扱い患者数 |
|---|------|--------|
| HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植(HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術(頸椎椎間板ヘルニア(画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性のもの(後縦韌帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。))に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| ケラチン病の遺伝子診断(水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断 | 有・無 | 人 |
| 末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術(双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例(妊娠十六週から二十六週に限る。))に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法(肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 先天性銅代謝異常症の遺伝子診断(ウィルソン病、メンケス病又はオクシピタルホーン症候群に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 超音波骨折治療法(四肢の骨折(治療のために手術中に行われるものを除く。))のうち、観血的手術を実施したもの(開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。))に係るものに限る。) | ①有・無 | 0人 |
| CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラーメドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法(ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存(骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性(欠損性又は感染性偽関節に係るもの)に限る。)、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時(初回又は再置換術時)に限る。の)の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術(難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないもの)に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価(骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍掻爬術後若しくは骨髄炎掻爬術後の症状に係るもの)に限る。) | 有・無 | 人 |
| 膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るもの)に限る。) | 有・無 | 人 |
| 色素性乾皮症に係る遺伝子診断 | 有・無 | 人 |
| 先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断 | 有・無 | 人 |
| 歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法(歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るもの)に限る。) | 有・無 | 人 |
| セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術(人工股関節のたるみに係るもの)に限る。) | 有・無 | 人 |
| 腹腔鏡下直腸固定術(直腸脱に係るもの)に限る。) | 有・無 | 人 |
| 骨移動術による関節温存型再建(骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るもの)に限る。) | 有・無 | 人 |
| 肝切除手術における画像支援ナビゲーション(原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るもの)に限る。) | 有・無 | 人 |
| 樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍(食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がんに係るもの)に限る。) | 有・無 | 人 |

| 先進医療の種類 | 届出受理 | 取扱い患者数 |
|--|------|--------|
| 自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したものに限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したものに限る。))に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はピオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療が出来ないものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類I b期までの子宮体がんに係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断 | 有・無 | 人 |
| RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。))に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治癒切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 光トポグラフィ検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第百七十六号)の「(1) 疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。))においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつ症状の者(器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。))に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴(小白歯の重度の齲蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。) | 有・無 | 人 |
| 大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。))又は腺腫(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。))に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |

| | | |
|--|-----|---|
| 無拘束型多点感圧シートセンサを用いた検査(閉塞性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる症状(習慣性がある激しいいびき、日中の傾眠等をいう。)及び所見(肥満、薬物療法に対して抵抗性を有する高血圧等をいう。)が認められる者又は中枢性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる慢性心不全の者に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
|--|-----|---|

| 先進医療の種類 | 届出受理 | 取扱い患者数 |
|---|------|--------|
| 内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断 | 有・無 | 人 |
| 腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは臼蓋骨折に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索 | ①・無 | 192人 |
| カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 胎児尿路・羊水腔シャント術(プルーン・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。))に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIHF)例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。))に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索 | 有・無 | 人 |
| 副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。) | 有・無 | 人 |
| 根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 内視鏡下手術用ロボットを用いた冠動脈バイパス手術(虚血性心疾患に係るものであって、一箇所を吻合するものに限る。) | 有・無 | 人 |

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

| 疾患名 | 取扱い患者数 | 疾患名 | 取扱い患者数 |
|-------------------|--------|---------------------------|--------|
| ・ベーチェット病 | 1人 | ・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症) | 2人 |
| ・多発性硬化症 | 8人 | ・ウェゲナー肉芽腫症 | 人 |
| ・重症筋無力症 | 15人 | ・特発性拡張型(うっ血型)心筋症 | 37人 |
| ・全身性エリテマトーデス | 人 | ・多系統萎縮症 | 1人 |
| ・スモン | 人 | ・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型) | 人 |
| ・再生不良性貧血 | 23人 | ・膿疱性乾癬 | 人 |
| ・サルコイドーシス | 8人 | ・広範脊柱管狭窄症 | 3人 |
| ・筋萎縮性側索硬化症 | 人 | ・原発性胆汁性肝硬変 | 15人 |
| ・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎 | 3人 | ・重症急性膵炎 | 1人 |
| ・特発性血小板減少性紫斑病 | 34人 | ・特発性大腿骨頭壊死症 | 人 |
| ・結節性動脈周囲炎 | 1人 | ・混合性結合組織病 | 2人 |
| ・潰瘍性大腸炎 | 20人 | ・原発性免疫不全症候群 | 人 |
| ・大動脈炎症候群 | 5人 | ・特発性間質性肺炎 | 1人 |
| ・ビュルガー病 | 1人 | ・網膜色素変性症 | 6人 |
| ・天疱瘡 | 人 | ・プリオン病 | 人 |
| ・脊髄小脳変性症 | 16人 | ・原発性肺高血圧症 | 1人 |
| ・クローン病 | 人 | ・神経線維腫症 | 1人 |
| ・難治性の肝炎のうち劇症肝炎 | 人 | ・亜急性硬化性全脳炎 | 人 |
| ・悪性関節リウマチ | 人 | ・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群 | 1人 |
| ・パーキンソン病関連疾患 | 23人 | ・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型) | 人 |
| ・アミロイドーシス | 3人 | ・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む | 人 |
| ・後縦靭帯骨化症 | 11人 | ・副腎白質ジストロフィー | 人 |
| ・ハンチントン病 | 人 | | |

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

| | | |
|-------------------------------------|--|------------|
| 臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況 | ①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ②. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。 | |
| 臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度 | 9回 | |
| 剖検の状況 | 剖検症例数 33 例 | 剖検率 23.1 % |

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究補助費等の実績

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額(千円) | 補助元又は委託元 |
|--|--------|------------|--------|----------|
| 地域がん登録資料のがん対策およびがん研究への活用に関する研究 | 井岡 亜希子 | 調査部調査課 | 21,770 | 補 厚生労働省 |
| がん情報ネットワークを利用した総合的がん対策支援とその評価の具体的方法に関する研究 | 津熊 秀明 | 調査部 | 1,500 | 補 厚生労働省 |
| 保健・医療機関受診者を対象とした禁煙支援方法の開発と評価に関する研究 | 田中 政宏 | 調査部調査課 | 1,300 | 補 厚生労働省 |
| がん検診の適切な方法とその評価法の確立に関する研究 | 中山 富雄 | 疫学課 | 800 | 補 厚生労働省 |
| 喉頭機能を温存した頭頸部がんの標準的治療法の確立に関する研究 | 吉野 邦俊 | 耳鼻咽喉科 | 11,820 | 補 厚生労働省 |
| がん専門医療施設を活用したがん診療の標準化開発に関する研究 | 吉野 邦俊 | 耳鼻咽喉科 | 800 | 補 厚生労働省 |
| 日本人女性の乳がん発症リスクに対する新しいロジスティック回帰モデルの臨床応用に関する研究 | 菰池 佳史 | 乳腺・内分泌外科 | 11,270 | 補 厚生労働省 |
| 希少悪性腫瘍に対する標準的治療確立のための多施設共同研究 | 荒木 信人 | 整形外科 | 1,500 | 補 厚生労働省 |
| すりガラス状陰影を伴う肺がんの診断・治療方法の確立に関する研究 | 児玉 憲 | 副院長 | 1,200 | 補 厚生労働省 |
| がん専門医療施設を活用したがん診療の標準化開発に関する研究 | 堀 正二 | 総長 | 800 | 補 厚生労働省 |
| がん専門医療施設を活用したがん診療の標準化開発に関する研究 | 大植 雅之 | 消化器外科 | 800 | 補 厚生労働省 |
| 大腸がん肝転移の予知ならびに予防的治療に関する研究 | 大植 雅之 | 消化器外科 | 1,000 | 補 厚生労働省 |
| 地域がん専門診療施設のソフト面の整備拡充に関する研究 | 淡田 修久 | 副院長兼診療局長 | 1,000 | 補 厚生労働省 |
| 乳房温存療法の切除断端の病理診断の標準化と術後観察の適正化に関する研究 | 稲治 英生 | 乳腺・内分泌外科 | 1,100 | 補 厚生労働省 |
| 呼吸器悪性腫瘍に対する標準的治療確立のための多施設共同研究 | 今村 文生 | 呼吸器内科 | 900 | 補 厚生労働省 |
| 成人難治性造血器腫瘍に対する非血縁者間の同種造血幹細胞移植法の確立に関する研究 | 平岡 諱 | 血液化学療法科 | 1,000 | 補 厚生労働省 |
| 肺がんの要因と病態に関する研究 | 東山 聖彦 | 呼吸器外科 | 700 | 補 厚生労働省 |
| 標準的乳がんセンチネルリンパ節生検法の実施要綱に関する研究 | 元村 和由 | 呼吸器外科 | 1,300 | 補 厚生労働省 |
| 進行肝胆膵がんに対する標準的治療法の確立に関する研究 | 井岡 達也 | 検診部消化器検診科 | 500 | 補 厚生労働省 |
| 難治がんの総合的な対策に関する研究 | 井上 徳光 | 研究所分子遺伝学部門 | 1,200 | 補 厚生労働省 |
| がん外科治療における形成再建手技の確立に関する研究 | 栗田 智之 | 耳鼻咽喉科 | 500 | 補 厚生労働省 |
| 生検組織や細胞を用いたがんの治療感受性予知法および治療効果判定法の確立にかんする研究 | 飯塚 徳重 | 病理・細胞診断科 | 500 | 補 厚生労働省 |
| 効果的な禁煙支援法の開発と普及のための制度化に関する研究 | 大島 明 | がん相談支援センター | 2,000 | 補 厚生労働省 |
| 革新的な診断技術を用いたこれからの肺がん検診手法の確立に関する研究 | 中山 富雄 | 調査部疫学課 | 26,988 | 補 厚生労働省 |
| 新しい診断機器の検診への応用とこれらを用いた診断制度の向上に関する研究 | 中山 富雄 | 調査部疫学課 | 3,000 | 補 厚生労働省 |
| がん罹患、死亡動向の実態把握の研究 | 井岡亜希子 | 調査課 | 1,200 | 補 厚生労働省 |
| がん検診に有用な新しい腫瘍マーカーの開発 | 井岡 達也 | 検診部消化器検診科 | 3,000 | 補 厚生労働省 |
| 院内がん登録の標準化と普及に関する研究 | 津熊秀明 | 調査部 | 700 | 補 厚生労働省 |
| 日中両国を含む東アジア諸国におけるがん対策の質の向上と標準化を目指した調査研究 | 田中 政宏 | 調査部調査課 | 1,500 | 補 厚生労働省 |
| がん患者の医療機関受診に関する動態調査 | 津熊 秀明 | 調査部 | 11,932 | 補 厚生労働省 |
| 高悪性度軟部腫瘍に対する標準的治療法の確立に関する研究 | 荒木 信人 | 整形外科 | 1,200 | 補 厚生労働省 |
| 咽喉頭がんの頸部リンパ節転移に対する標準的治療法の確立に関する研究 | 藤井 隆 | 耳鼻咽喉科 | 1,000 | 補 厚生労働省 |

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究補助費等の実績

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額(千円) | 補助元又は委託元 |
|---|--------|------------|--------|----------|
| WEB版がんよろず相談システムの構築と活用に関する研究 | 柏木 雄次郎 | 脳神経科 | 200 | 補 厚生労働省 |
| 治癒切除不能進行胃癌に対する減量手術の意義に関する研究 | 宮代 勲 | 消化器外科 | 1,600 | 補 厚生労働省 |
| 早期消化管がんに対する内視鏡的治療の安全性と有効性の評価に関する研究 | 飯石 浩康 | 診療局長 | 1,100 | 補 厚生労働省 |
| 早期前立がんにおける根治術後の再発に対する標準的治療法の確立に関する研究 | 宇佐美 道之 | 泌尿器科 | 300 | 補 厚生労働省 |
| 限局型小細胞肺癌に対する新たな標準的治療の確立に関する研究 | 今村 文生 | 呼吸器内科 | 1,000 | 補 厚生労働省 |
| 再発小細胞肺癌に対する標準的治療法の確立に関する研究 | 今村 文生 | 呼吸器内科 | 800 | 補 厚生労働省 |
| 大腸がん肝転移症例の術後補助化学療法に関する研究 | 大植 雅之 | 消化器外科 | 800 | 補 厚生労働省 |
| 再発高危険群の大腸がんに対する術後補助療法の確立に関する研究 | 大植 雅之 | 消化器外科 | 1,000 | 補 厚生労働省 |
| 臨床病期Ⅱ・Ⅲの下部直腸がんに対する側方リンパ節郭清術に関するランダム化比較試験 | 大植 雅之 | 消化器外科 | 1,500 | 補 厚生労働省 |
| 切除不能胆道がんに対する治療法の確立に関する研究 | 井岡 達也 | 検診部消化器検診科 | 0 | 補 厚生労働省 |
| 受診率向上につながる検診のあり方や、普及啓発の方法に関する研究 | 田中 政宏 | 調査部調査課 | 1,000 | 補 厚生労働省 |
| 高精度治療技術による低リスク高線量放射線治療に関する臨床研究 | 西山 謹司 | 診療局長 | 500 | 補 厚生労働省 |
| 肉腫および悪性中皮腫を標的破壊する腫瘍溶解性ウイルスベクターのシードストックおよび臨床用試薬の製造とその安全性・有効性に関する研究 | 高橋 克仁 | 研究所病態生理学部門 | 18,159 | 補 厚生労働省 |
| 肺癌移植マウスを用いた遺伝子発現プロファイル解析による分子標的薬の皮膚毒性に関する解析 | 谷口 一也 | 研究所免疫学部門 | 5,000 | 補 厚生労働省 |
| BCG-CWを用いた抗がん免疫応答の再構築とそのメカニズム | 赤澤 隆 | 研究所分子遺伝学部門 | 1,690 | 補 文部科学省 |
| 癌細胞の擬似的微生物の化ツールの開発とワクチンへの応用 | 赤澤 隆 | 研究所分子遺伝学部門 | 9,100 | 補 文部科学省 |
| がん浸潤転移に至る冗贅組織構造の再構築 | 三好 淳 | 研究所分子生物学部門 | 6,800 | 補 文部科学省 |
| オートファジーを介した放射線増感作用の研究 | 遠藤洋子 | 研究所生化学部門 | 1,170 | 補 文部科学省 |
| がん細胞の極性形成の異常と細胞接着シグナリング(神戸大学高井義美教授) | 岡本 三紀 | 研究所分子生物学部門 | 10,000 | 補 文部科学省 |
| 肉腫幹細胞の性状解析とウイルス工学を応用した幹細胞標的医薬の開発 | 高橋 克仁 | 研究所病態生理学部門 | 25,300 | 補 文部科学省 |
| ウイルス好みを宇要した肉腫標的医薬の開発 | 山村 倫子 | 研究所病態生理学部門 | 1,500 | 補 文部科学省 |
| 骨・軟部腫瘍の転移に対するSSXを標的とした治療法の開発 | 吉岡 潔子 | 研究所生物学部門 | 1,700 | 補 文部科学省 |
| IGF・P13K・mTORシグナルの抑制を中心とした癌の低酸素耐性機構の解明 | 井上 正宏 | 研究所生化学部門 | 1,400 | 補 文部科学省 |
| 転写因子PBX1を介した抗アポトーシス経路と転移との関連の解明 | 富田 裕彦 | 病理・細胞診断科 | 1,700 | 補 文部科学省 |
| 骨芽細胞の運動制御と臨床応用 | 伊藤 和幸 | 研究所生物学部門 | 1,600 | 補 文部科学省 |
| 微小遺伝子変異の高感度検出によるゲノム耐性予測 | 谷口 一也 | 研究所免疫学部門 | 1,340 | 補 文部科学省 |
| 遺伝子治療を併用した樹状細胞による新規癌免疫治療法の研究 | 赤澤 隆 | 研究所分子遺伝学部門 | 100 | 補 文部科学省 |
| 遺伝子発現解析に基づいた悪性神経膠腫の治療反応予測性モデルの実用化に関する研究 | 加藤 菊也 | 研究所免疫学部門 | 500 | 補 文部科学省 |

計 60

(注)

1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発

及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|---|------------|-------|
| Therapeutic Research. 30(1): 17-24 (2009. 1) | 拡張性心不全(拡張不全)の病態と治療を考える. | 堀 正二 | 総長 |
| JACC cardiovascular Interventions. 1(5): 469-476 (2008. 10) | Percutaneous Coronary Intervention Plus Medical Therapy Reduces the Incidence of Acute Covonary Syndrome More Effectively Than Initial Medical Therapy Only Among Patiento with Low-Risk Coronary Artery Disease A Randomized, Comparative, Multicenter Study | Hori.M | 総長 |
| J. Bioby Chemist 283 (35): 24234-24244 (2008. 8. 29) | Interaction of Scaffolding Adaptor Protein Gab1 with Tyrosine Phosphatase SHP2Negatively Regulates IGF-I-dependent Myogenic Differentiation via the ERK 1/2 Signaling Pathway | Koyama.T | 名誉総長 |
| Gastrointestinal Endoscopy. 69 (2): 213-218, 2009 | Quantitative analysis of the color change after iodine staining for diagnosing esophageal high-grade intraepithelial neoplasia and invasive cancer | Ishihara R | 消化器内科 |
| Gastrointestinal Endoscopy. 68(6):1066-72, 2008 | Comparison of endoscopic mucosal resection and endoscopic submucosal dissection for en bloc resection of early esophageal cancers in Japan | Ishihara R | 消化器内科 |
| Gastrointestinal Endoscopy. 68 (5): 975-81, 2008 | nfrared endoscopic system for bleeding point detection after flushing with indocyanine green solution | Ishihara R | 消化器内科 |
| Gastrointestinal Endoscopy. 67 (4): 745-747, 2008 | Endoscopic resection of the esophageal squamous cell carcinoma overlying leiomyoma | Ishihara R | 消化器内科 |
| Gastrointestinal Endoscopy. 67 (6): 799-804, 2008 | Local recurrence of large squamous cell carcinoma of the esophagus after endoscopic resection | Ishihara R | 消化器内科 |
| Cancer. 112(10):2166-2172 (2008) | Long-term outcome of esophageal mucosal squamous cell carcinoma without lymphovascular involvement after endoscopic resection | Ishihara R | 消化器内科 |
| Gastrointestinal endoscopy. 68: 146-147 (2008. 4) | A case of intraepithelial neoplasia in the oropharynx detected by endoscopic screening with narrow-band imaging videoendoscopy | Uedo N | 消化器内科 |
| Gut and Liver. (2008.3.2) | What can we see in the different lights? | Uedo.N | 消化器内科 |
| In: Tajiri H, M Nakajima, K Yasuda, ed. New Challenges in Gastrointestinal Endoscopy, Tokyo, Springer, 2008: 191-199 | Autofluorescence imaging video-endoscopy system for diagnosis of superficial gastric neoplasia | Uedo.N | 消化器内科 |
| Endoscopy. 40: 881. (2008) | Light blue crest (blue fringe): endoscopic diagnosis of pathology | Uedo.N | 消化器内科 |
| Digestion. 2008; 78 (2-3):113-9. Epub 2008 Nov 20 | Predictive factors for metachronous gastric cancer in high-risk patients after successful Helicobacter pylori eradication | Uedo.N | 消化器内科 |
| Pancreas. 36: 236-240 (2008) | In situ Telomerase activity in pancreatic juice may discriminate pancreatic cancer from othe pancreatic diseases | Uehara H | 消化器内科 |

| | | | |
|--|---|-------------|----------|
| Gut. 57: 1561-1565 (2008) | Development of ductal carcinoma of the pancreas during follow-up of branch duct intraductal papillary mucinous neoplasm of the pancreas | Uehara H | 消化器内科 |
| 消化器内視鏡. 第20巻: (9号) 1432-1436 (2008.9.1) | ESDスキルアップ | 上堂文也 | 消化器内科 |
| 胃と腸. 医学書院. 43巻 10号 (2008.9.1) | 自家蛍光内視鏡による食道癌の診断 | 上堂文也 | 消化器内科 |
| 消化器の臨床. 2008; 11: 202-4 | 最新の食道・胃腫瘍性病変の内視鏡治療:内視鏡治療後の経過観察をどう進めるか | 鼻岡 昇 | 消化器内科 |
| 臨床消化器内科. 24巻1号:115-118 (2009.1.1) | 狭帯域光内視鏡(NBI)拡大観察が癌の診断に有用であった早期胃癌の1例 | 上堂文也 | 消化器内科 |
| 日本消化器病学会雑誌. 105 (2008) 529-534 (2008.4.4) | A型胃炎に合併した胃カルチノイドに内視鏡治療を行った1例 | 山本俊祐 | 消化器内科 |
| JOURNAL OF BRONCHOLOGY. 15: 146-151 (2008. 7) | Three-dimensional Conformal Radiation Therapy for In Situ or Early Invasive Central Airways Lung Cancer | Nishino.K | 呼吸器内科 |
| J Inf Chemother. 14: 361-367 (2008) | Fulminant septicemia of Bacillus cereus resistant to carbapenem in a patient with biphenotypic acute leukemia | Hiraoka A | 血液・化学療法科 |
| 日本医事新報. 4387: 89-90 (2008) | 発熱性好中球減少症について | 吉田 均 | 血液・化学療法科 |
| Therapeutic Research. Vol. 29 No.10: 18-21 (2008. 10) | 血小板増多症が原因と考えられた慢性肺血栓塞栓症による肺高血圧症に対してボセンタンが有効であった1例 | 和泉匡洋 | 循環器内科 |
| Cardiac Practice. 20:7-11 (2009) | SAS診断「睡眠時呼吸障害と循環器疾患」 | 和泉匡洋 | 循環器内科 |
| General Thoracic and Cardiovascular Surgery. Sprenger Japan 2008. 56: 512-514 (2008) | Surgical treatment for lung cancer in the left lung complicated by isolated right thoracic isomerism | Kanzaki.R | 消化器外科 |
| The pancreas second ed, Beger HG. Buchler MW.Eds.Blackwell Publishing,Oxford UK:776-786 (2008) | Survival and late morbidity after pancreatic cancer resection | Ishikawa O | 消化器外科 |
| Am J Pathol. 172(2):454-469 (2008) | Inhibition of autophagy prevents hippocampal pyramidal neuron death after hypoxic-ischemic injury | Koike M | 消化器外科 |
| Ann Surg Oncol. 15(6): 1640-1643 (2008.6) | Detection of Sentinel Node in Gastric Cancer Surgery by Indocyanine Green Fluorescence Imaging:Comparison with Infrared Imaging | Miyashiro I | 消化器外科 |
| Analytical Biochemistry. 364: 37-50 (2007) | Novel fucogangliosides found in human colon adenocarcinoma tissues by means of glycomic analysis | Noura.S | 消化器外科 |
| Oncology Report. 20(4): 745-750 (2008) | Evaluation of lateral region sentinel nodo for rectal cancer based on micrometastases determined by reverse transcription-polymerase chain reaction | Noura.S | 消化器外科 |
| The American Journal of Surgery. 196: 130-134 (2008) | A simple and safe anastomosis in pancreaticogastrostomyusing mattress sutures | Ohigashi H | 消化器外科 |

| | | | |
|---|--|---------------|-------|
| International Journal of Clinical and Experimental Pathology. 2: 154-162 (2009) | Precursor cancer cells in the human colorectal cancer tissue | Ohue. M | 消化器外科 |
| Dig Surg. 25(4): 319-324 (2008) | Doubling time of CEA is a significant prognostic factor after the surgical resection of locally recurrent rectal cancer | Tanaka K | 消化器外科 |
| Esophagus. 5: 75-80 (2008) | Excess visceral fat accumulation is a risk factor for postoperative systemic inflammatory response syndrome in patients with esophageal cancer | Tanaka K | 消化器外科 |
| J Thorac Cardiovasc Surg. 136(1):205-212 (2008) | Lack of fludeoxyglucose F 18 uptake in posttreatment positron emission tomography as a significant predictor of survival after subsequent surgery in multimodality treatment for patients with locally advanced esophageal squamous cell carcinoma | Yano M | 消化器外科 |
| J Surg Res. 145(1):5-12 (2008) | Injection of LPS causes transient suppression of biological clock genes in rats | Yano M | 消化器外科 |
| 2.肝・胆・膵 こんな時どうするQ&A. 上西紀夫, 中尾昭公編集. (株) 中外医学社. (東京都) 179-181 (2008. 10. 10) | 膵癌に対する大動脈周囲(16番)リンパ節郭清の意義 | 石川 治 | 消化器外科 |
| 外科. 70 (6): 650-654 (2008. 6) | 術前化学放射線療法の有効性 | 大東弘明 | 消化器外科 |
| 外科治療. 98 (増): 211-215 (2008) | 膵癌に対する補助化学(放射線)療法 | 大東弘明 | 消化器外科 |
| 手術. 63(3):369-373 (2009.3.15) | 膵消化管吻合時の膵組織損傷の最小化を目指した膵断端陥入式膵胃壁. マントレス縫合法 | 大東弘明 | 消化器外科 |
| 術. 62 (4): 455-460 (2008) | 胃癌におけるセンチネルリンパ節同定法 | 宮代 勲 | 消化器外科 |
| 消化器外科. 31 (5): 883-886 (2008) | 胃癌のすべて 特殊な胃癌 粘膜下腫瘍様胃癌 | 宮代 勲 | 消化器外科 |
| 癌と化学療法. 34 (12): 1937-1939 (2007) | 大腸癌腹腔洗浄細胞診の意義と腹膜播種の予防 | 谷田 司 | 消化器外科 |
| ナースのための術前・術後マニュアル. 跡見 裕. 照林社 (東京). 194-196 | 術前・術後のポイント 膵頭十二指腸切除術 | 岡野美穂 | 消化器外科 |
| Ann Thorac Cardiovasc Surg. 14: 355-362 (2008) | In vitro chemosensitivity test using the collagen gel droplet embedded culture drug test (CD-DST) for malignant pleural mesothelioma: Possibility of clinical application | Higashiyama.M | 呼吸器外科 |
| Eur J Cardio-thorac Surg. (2008) | Prognostic value of intraoperative pleural lavage cytology for lung cancer without carcinomatous pleuritis: Importance in patients with early stage disease during long-term follow up | Higashiyama.M | 呼吸器外科 |
| Ann Thorac Surg. 86: 910-911 (2008) | Phase I / II trial of hyperfractionated radiation and chemotherapy follirued by surgery iin stage III lung cancer | Kodama.K | 呼吸器外科 |